

五所御前・五大力

今から 1800 年以上前、伝説の女帝、神功皇后は九州で住吉大社の三神と出会ったと言われている。その出会いの後、三神を祀るのに適した場所を探して西日本を巡った。そしてこの場所にたどり着くと、三神はこの地に生えていた木に降臨したという。神功皇后は、この木の周りに神社の創建を命じ、彼女も亡くなると住吉大社に神として祀られた。

五所御前の「五」は神々が授ける健康、知恵、富、幸福、長寿の 5 つの恵みを意味している。石の中には「五」「大」「力」の文字が刻まれているものが何も刻まれていない小石の中にまかれている。それぞれの文字が刻まれた石を見つけた人は持ち帰ることができる。セットで持ち帰ると願いが叶うと信じられている。願い事が叶ったら、その石を近所で集めた五大力の文字を刻んだ 3 つの石と一緒に五所御前に返すというならわしがある。象徴的には、信者は自分が受け取ったものの 2 倍をお返しするのである。